

平成21年度

海遊

(活動の記録)

第10号



スノーケリング指導者養成講座



福井県海浜自然センター

目 次

福井県海浜自然センターの概要	1
展示事業	2
1 常設展・企画展	
2 入館者数 (1)平成21年度月別入館者数 (2)年度別入館者数	
指導普及事業・研修養成事業	5
1 普及誌の編集・発行	
2 インターネットによる情報発信	
3 自然体験講座	
(1)スノーケリング自然教室 (2)海のふれあい教室 (3) 三方五湖自然教室	
(4) 他施設との連携企画	
4 団体向けの自然体験講座	
(1)各種プログラム (2)3Dシアターと館内見学 (3)出張講座	
5 研修養成事業	
(1)ナチュラリスト養成 (2)指導者養成講座 (3)ナチュラリストリーダー派遣研修	
調査研究事業	10
1 食見地区周辺海域調査	
2 ふゆみずたんぼに飛来したハクチョウ類の個体数調査	
その他	10
運営会議の開催	
資 料	
1 - 1 各種プログラム 参加団体一覧	11
1 - 2 3Dシアターと館内見学 団体一覧	13
2 食見地区周辺環境調査	15
3 ふゆみずたんぼに飛来したハクチョウ類の個体数調査	18
4 来館者アンケート結果	21
5 夏休み期間の車ナンバー調査	21

福井県海浜自然センターの概要

福井県海浜自然センターは、人と自然が共生するやすらぎある県民生活の実現に向け、本県の豊かな海の自然を学び体験していただくための施設として平成11年7月20日（海の日）にオープンいたしました。

当センターと隣接公園施設を含む地域（若狭三方マリパーク）は、多くの半島や入江からなるリアス式海岸の美しい風景が広がる若狭湾国定公園内にあります。また、周辺の海域は、特に海中景観が美しく、生物相も豊かなことから、昭和46年に本県唯一の海中公園（三方海中公園）として、4箇所30.2haが指定されています。（平成22年4月の自然公園法改正により海域公園と改められました。）

当センターは、このように恵まれた自然環境を背景に、海の自然をテーマとした学習・体験の場を提供することにより、皆様により一層自然保護への理解を深めていただくことを目的としています。

【施設】

所在地	福井県三方上中郡若狭町世久見18 - 2（食見海岸）		
建物	鉄筋コンクリート2階建		
敷地面積	約5,500㎡	延床面積2,122㎡	駐車場 約270台
整備費	約17億5千万円		

1階 エントランスホール・体験学習室・スノーケル準備スペース

2階 展示ホール・マリンホール・海のライブラリー・授乳室・展望デッキ

【展示】

若狭の海にいる魚たちにエサを与えることができる「ふれあい水槽」や直接魚に触ることができる「タッチプール」、三方海域公園の様子を海中に設置したカメラで見ることができる「リアルタイムスコープ」、海域公園の自然を立体ハイビジョン映像で紹介する「3Dシアター 若狭の海」などを常時展示しています。

また、企画展として、第60回全国植樹祭の丹南会場での生き物展示や、ツーデーマーチの会場での体験ブース出展、県立大学小浜キャンパスや県庁での写真展示などを行ったり、海浜センター内でエチゼンクラゲやウミウシ、トラフグやウミガメなどいろいろな生き物の展示を行いました。

【事業】

センター周辺の海をフィールドとしたスノーケリングや磯の生き物観察、ラムサール条約登録湿地の三方五湖をフィールドとした野鳥観察や魚類の観察など、海や湖の自然とふれあいながら体験学習ができる各種講座を実施しています。

展示事業

1 常設展・企画展

常設展

【1階】

エントランスホール

ふれあい水槽

容量約8トンの大型水槽に若狭の海にいる魚たちを展示しています。水槽に開いた小窓からは魚たちにエサを与えることができます。

海のインフォメーション

スノーケリングや海辺の散策に必要な「今日の暦、あすの暦」、水中カメラの映像「いま、マリンパークの海は」等の情報を提供しています。

海の身近な小動物展示

近海で見られる小型の魚、イソギンチャク類、ヤドカリ類などを小型水槽で展示しています。

その他

若狭地方でかつて使用されていた和船“さんば”、近隣の海岸に流れ着いた様々な漂着物、ビーチクラフト作品などを展示しています。

【2階】

展示ホール

時間と空間の旅

共通の時間軸に沿って展開する「生命の旅(生物進化のあゆみ)」、「大地の旅(大地と海の変化)」の2つの“時間の旅”の映像で構成し、生命と大地の2つの視点から、現在の若狭を地球規模の時間と空間の中に位置づけています。

若狭の四季

若狭湾一帯の地形模型に、地形・地質・気候・植生・土地利用など、若狭の自然環境に関する情報や若狭の四季の特色を大型スライド映像で投影しています。また、若狭の四季の動画映像を4面マルチメディアモニターで同時に上映しています。

若狭の自然

若狭の自然にまつわる解説を以下の5つのテーマで展示しています。

越前の海・若狭の海 リアス式海岸 若狭の海の特徴
若狭で見られる北の生き物・南の生き物 三方五湖

若狭の暮らし

若狭の暮らしにまつわる解説を以下の6つのテーマで展示しています。

鳥浜貝塚 奈良時代の製塩 鯖街道 フグの養殖と民宿
今も昔も定置網漁業のさかなな若狭
高浜の漁師画家 貝井春治郎氏の絵日記 春・夏・秋・冬シリーズ

リアルタイムスコープ

スコープでの遠隔操作が可能な固定型海中カメラによって、海中の様子をリアルタイムで観察できます。

若狭の海の海中散歩

若狭の海の代表的な海中景観である岩礁地、潮間帯、浅い砂地、深海の4種類の環境を原寸大のジオラマ造形で再現しています。また、それぞれの環境に適応した生物の生態を検索型の映像で紹介しています。

タッチプール

センター周辺の磯だまりをリアルに再現し、小型の魚などに触ることやエサを与えることができる水槽を設置しています。

マリンホール

三方海域公園の自然を立体ハイビジョン映像で紹介するシアターで、美しい海中景観と、そこに生息する生物の観察を疑似体験できます。

海のライブラリー

海の自然に関する図書や情報を閲覧できます。

その他

- ・「日本海の貝」「世界の貝」の展示
貝類収集家であった故松本一夫氏のコレクション約500点を展示しています。
- ・情報掲示板
地元の小学生が環境学習で作成したポスターなどを掲示しています。
- ・「三方五湖の自然」

企画展

期間	場所	内容
H21. 6. 7	越前町（プラントピア朝日）	海の生物多様性他パネル展示
H21. 6.21	敦賀市（アトムプラザ）	磯の生き物展示
H21. 8.20 ~ 9.30	海浜自然センター	エチゼンクラゲ展示
H21.10.上 ~ 10.31	海浜自然センター	ウミウシ展示
H21.10. 3 ~ 10. 4	小浜市（県立大小浜）	若狭の海写真展
H21.10.16 ~ 10.17	福井市（AOSSA）	福井県環境フェアパネル展
H21.10.17 ~ 10.18	若狭町（ツーデーマーチ会場）	海藻おしば体験ブースほか
H21.11. 5 ~ 11.29	海浜自然センター	野田三千代海藻おしば作品展
H22. 1. 8 ~ 1.31	海浜自然センター	トラフグ展示
H22. 1.21 ~ 2.27	海浜自然センター	たたき網でとれたBigな魚たち
H22. 2.20 ~ 2.28	海浜自然センター	海藻おしば展
H22. 3.23 ~ 3.26	福井県庁	三方海中公園写真展
H22. 3.20 ~ 5.9	海浜自然センター	福井に来るウミガメ

2 入館者数

(1) 平成21年度月別入館者数

月	月別入館者数(人)	21年度累計(人)
4月	4,393	4,393
5月	9,615	14,008
6月	5,708	19,716
7月	9,003	28,719
8月	15,271	43,990
9月	8,474	52,464
10月	6,129	58,593
11月	4,426	63,019
12月	2,619	65,638
1月	3,887	69,525
2月	4,045	73,570
3月	5,480	79,050

(2) 年度別入館者数

年 度	入館者数(人)	累計入館者数(人)
平成11年度	65,293	65,293
平成12年度	97,705	162,998
平成13年度	89,327	252,325
平成14年度	86,080	338,405
平成15年度	82,831	421,236
平成16年度	80,494	501,730
平成17年度	92,393	594,123
平成18年度	83,997	678,120
平成19年度	76,138	754,258
平成20年度	75,653	829,911
平成21年度	79,050	908,961

指導普及事業・研修養成事業

1 普及誌の編集・発行

自然保護の普及誌として「ナチュラリスト」発行第20巻 1～3号（通算57～59号）を自然保護センターと共同で編集・発行しました。

2 インターネットによる情報発信

(1) ナチュラリスト登録者の中の希望者にタイムリーな海の自然情報「メールマガジン“なのりそ”の海」を発信しました。

(2) ホームページの内容を充実させ、行事案内等の情報を更新しました。

（平成21年4月～平成22年3月期間で、25,743件のアクセス数）

主な発信情報 施設利用案内 行事案内 若狭湾国定公園の自然情報など

3 自然体験講座

自然とのふれあいや観察をとおして、自然保護意識の向上を図るため、海と三方五湖の自然をテーマに各種講座と観察会を開催しました。

(1) **スノーケリング自然教室 7回実施 146名参加**

スノーケリングを安全に楽しむための技術講習と海中観察会を実施しました。

テーマ	期 日	場 所	講 師	人数
楽しみながら 海中公園クリーンアップ	7月4日(土)	食見海岸・烏辺島	ナチュラリストリーダー、センター職員	13
海中公園ウォッチング(烏辺島)	7月11日(土)	烏辺島	ナチュラリストリーダー、センター職員	15
スノーケリングにチャレンジ	7月20日(月)	食見海岸	ナチュラリストリーダー、センター職員	27
スノーケリングにチャレンジ	7月26日(日)	食見海岸	ナチュラリストリーダー、センター職員	15
スノーケリングにチャレンジ	8月8日(土)	食見海岸	ナチュラリストリーダー、センター職員	27
海中公園ウォッチング(黒崎半島)	8月22日(土)	黒崎半島	ナチュラリストリーダー、センター職員	23
海中公園ウォッチング(常神半島)	9月6日(日)	黒崎半島	ナチュラリストリーダー、センター職員	26
計				146

(2) **海のふれあい教室 11回実施 330名参加**

海辺の自然とふれあい学ぶ各種の講座を実施しました。

テーマ	期 日	場 所	講 師	人数
砂浜の生き物を観察しよう	6月6日(土)	小浜市西津	富永 修(福井県立大学教授)	51
三国の海で磯の生き物観察	7月18日(土)	坂井市三国	八十嶋章雄 (坂井市加戸小学校教諭)	41
夏の磯の生き物観察	7月25日(土)	センター	センター職員	34
海の宝物でクラフト作り	8月3日(月)	センター	センター職員	30
夏の磯の生き物観察	8月5日(水)	センター	センター職員	30

マナーを守って海釣り体験	10月10日(土)	食見海岸	釣りインストラクター	30
マナーを守って海釣り体験	10月24日(土)	食見海岸	釣りインストラクター	27
見つけた!海の宝物(漂着物しらべ)	11月28日(土)	センター	センター職員	39
海藻おしばでオリジナルカード作り	12月5日(土)	センター	センター職員	10
海の宝物でクラフト作り	12月13日(日)	センター	センター職員	10
海の生き物博士になろう!(海藻の不思議)	2月27日(土)	センター	神谷充伸(福井県立大学准教授)	28
計				330

(3) 三方五湖自然教室 9回実施 215名参加
三方五湖の自然にふれあい、学ぶ講座を実施しました。

テーマ	期日	場所	講師	人数
湖のギャング ブラックバス	5月2日(土)	三方湖	センター職員	36
湖と田んぼをつなぐ水田魚道	5月23日(土)	三方湖周辺	センター職員	24
はず川で魚しらべ	6月20日(土)	はず川	増井増一(鳥浜漁業協同組合長) センター職員	32
北の国からの渡り鳥 (ハクチョウ・カモ)	11月1日(日)	三方湖・菅湖周辺	日本野鳥の会福井県支部会員 センター職員	11
北の国からの渡り鳥 (ハクチョウ・カモ)	11月14日(土)	三方湖・菅湖周辺	日本野鳥の会福井県支部会員 センター職員	7
北の国からの渡り鳥 (ハクチョウ・カモ)	11月29日(日)	三方湖・菅湖周辺	日本野鳥の会福井県支部会員 センター職員	21
北の国からの渡り鳥 (ハクチョウ・カモ)	12月12日(土)	三方湖・菅湖周辺	日本野鳥の会福井県支部会員 センター職員	23
湖の王者ワシをウォッチング	1月24日(日)	三方湖・水月湖	日本野鳥の会福井県支部会員 センター職員	31
湖の王者ワシをウォッチング	2月6日(土)	三方湖・水月湖	日本野鳥の会福井県支部会員 センター職員	30
計				215

(4) 他施設との連携企画 20名参加
国立若狭湾少年自然の家、若狭三方縄文博物館、県立三方青年の家、県立若狭歴史民俗資料館と連携して自然とふれあう事業を実施しました。

内容	期日	場所	講師	人数
近隣5施設連携事業 若狭の歴史と自然!わくわく体験塾	11月21日(土) ~ 23日(月)	三方湖他	各施設職員、福井県FFJリストラガー	20
計				20

4 団体向け自然体験講座

(1) 各種プログラム

学習機能、体験機能、情報機能を有した当センターを、青少年育成等の学習の場として提供し、自然に親しむ心や、自ら実践、創造する態度を育てることにより、自然保護の普及啓発とともに青少年の健全な育成を図るため各種講座を開催しました。

(詳細は、資料1-1および(3))

内 容	団体数(延べ)	人数(延べ)
スノーケリング	5	131
磯観察	17	821
プランクトン観察	7	203
海藻おしばづくり	8	250
ビーチクラフト	4	123
釣り体験	2	113
海の生き物や環境の話	26	704
ビーチコーミング	1	99
その他	3	163
合 計	73	2,607

(2) 3Dシアターと館内見学

各種団体が自然体験活動の一環として、センターの展示物等を活用していただくことにより、海の自然保護の普及啓発を行いました。(詳細は、資料1-2)

内 容	団体数	人数
3Dシアターと館内見学	78	3,868

(3) 出張講師

他の団体及び機関等から、観察会や講演会の講師依頼を受け、以下のとおり派遣しました。

月 日	氏 名	演題または内容	場 所	依 頼 者
5月8日	児玉晃治	ハス川の魚とラムサール条約について	みそみ小学校	若狭町立みそみ小学校
5月20日	小堀徳広	カヤ田自然観察会での指導	カヤ田	若狭町立気山小学校
5月21日	児玉晃治	水田でカヤ田をふやす取り組みについて	みそみ小学校	若狭町立みそみ小学校
6月2日	児玉晃治	水田魚道について	三方小学校	若狭町立三方小学校
6月6日	児玉晃治	福井県におけるウミガメ類の混獲状況について	福井県立大学 小浜キャンパス	福井県立大学ふくい・ウミガメサークル
6月9日	児玉晃治	フナの稚魚の観察・説明 湖周辺の生き物について	三方湖周辺の水路	若狭町立梅の里小学校
	児玉晃治	プランクトン観察	若狭湾青少年自然の家	三方青年の家

6月11日	児玉晃治 小堀徳広	田んぼの生き物観察	吉村農園 水田	若狭町立明倫小学校
6月15日	児玉晃治	MARE アクティビティ プランクトンレース	みそみ小学校	若狭町教育研究会 6年部 会
6月16日	児玉晃治	MARE アクティビティ プランクトンレース	鳥羽小学校	若狭町立鳥羽小学校
6月20日	児玉晃治	ハス川の生き物観察	ハス川	三方青年の家(三方っ湖 クラブ)
6月21日	児玉晃治	水田魚道と水路の生き物 観察	三方湖周辺水路	三方青年の家(三方っ湖 クラブ)
7月11日	児玉晃治	水田で魚をふやす取り組 みについて	鳥浜・芳垣水田	若狭町鳥浜子供会
7月24日	児玉晃治	三方五湖の環境と外来魚 について	三方湖	高浜町立青郷小学校
7月25日	児玉晃治	ため池の外来魚について	神谷公民館	神谷農地・水・環境を守 る会
8月9日	児玉晃治 小堀徳広	生き物調査と有害外来種 の駆除	神谷ため池	神谷農地・水・環境を守 る会
8月19日	児玉晃治	学校における環境教育の 取り組みについて	佐分利小学校	大飯郡理科研修会
8月23日	児玉晃治 小堀徳広	魚など生き物調査・学習	久々子湖 宇波西川	美浜町大藪農村環境保全 隊
8月26日	児玉晃治 小堀徳広	生き物観察会	白屋集落センター周 辺	白屋里地を守る会
8月27日	児玉晃治	三方五湖の環境保全につ いて	三方青年の家	福井県教育庁嶺南教育事 務所
9月2日	児玉晃治	三方五湖の現状と問題点	三方青年の家	三方五湖学生環境サミッ ト
9月6日	多田雅光	プレゼンテーション大会 審査	三方青年の家	三方五湖学生環境サミッ ト
9月19日	児玉晃治	ハゼ釣り体験	久々子湖	三方青年の家(三方っ湖 クラブ)
		バス駆除体験	三方湖	三方青年の家(三方っ湖 クラブ)
10月3日	小堀徳広	湖の生物って、みな同じ?	琵琶湖博物館	三方青年の家(三方っ湖 クラブ)
10月15日	児玉晃治	三方五湖再生プロジェクトの紹介	若狭ライオンズクラ ブ事務所	若狭ライオンズクラブ
10月22日	児玉晃治	サンゴの海の生き物につ いて	気山小学校	若狭町立気山小学校
11月6日	児玉晃治 榊郷かおり	ビーチコーミング 海的环境学習	世久見海岸	若狭三方五湖観光協会
11月25日	児玉晃治	地域の環境学習発表会コ メンター	みそみ小学校	若狭町立みそみ小学校
2月20日	児玉晃治	外来魚会議	ホテル水月花	福井県農林水産部水産課
2月21日	児玉晃治	環境学習のまとめ発表会 について	三方青年の家	三方青年の家(三方っ湖 クラブ)

5 研修養成事業

(1) ナチュラリスト養成

自然保護センターと協力して、自然保護思想の普及を図るため、自然や自然保護に関心のある人をナチュラリストとして登録しました。

平成21年度ナチュラリスト新規登録者数 248名(累計9,128名)
(うち海浜自然センターでの登録者数67名)

(2) 指導者養成講座

海浜自然センターの各種行事を支援していただけるリーダーおよび、各地で自然観察指導を担える人材を育成することを目的に指導者養成講座を実施しました。

内容	期日	場所	講師	人数
スノークワガ 指導者養成講座	6月13日(土) 6月14日(日)	食見海岸	小池潔 (オーシャンファミリー海洋 自然体験センター)	18
自然観察指導者養成講座	6月27日(土) 6月28日(日)	食見海岸	福井の海に親しむ会会員 海浜自然センター職員	15
合計				33

(3) ナチュラリストリーダー派遣研修

ナチュラリストリーダーおよびリーダーを目指す方の資質向上のために、県外派遣研修を実施しました。

参加者	テーマ	実施月日	場所
田辺裕美 片山真理子	漂着海藻採集と保存・管理を学ぶ (海藻おしば協会指導者養成講座)	22年3月20日 ～3月21日	筑波大学下田臨海実験センター (静岡県下田市)



「自然観察指導者養成講座(救命救急講習)」

調査研究事業

1 食見地区周辺海域調査

(趣旨) 海浜自然センターがある食見海岸は、常神半島と黒崎半島に囲まれた世久見湾の奥に位置し、湾内には4箇所30.2haの海域公園地区があります。これらの海域の自然環境の把握に努めるための調査を実施しています。

(期間) 平成21年10月16日

(結果) 資料2

2 ふゆみずたんぼに飛来したハクチョウ類の個体数調査

(趣旨) 三方五湖に飛来するハクチョウ類などの生息環境を整備するため、冬季の水田に水をはる「ふゆみずたんぼ」を湖周辺の農家の方に設置していただきました。このふゆみずたんぼの効果を検証するため、平成18年度から飛来したハクチョウ類の個体数を日本野鳥の会福井県支部会員とともに調査しています。

(期間) 平成21年11月3日～平成22年2月24日

(結果) 資料3

その他

運営会議の開催

海浜自然センターを県民の皆様に、より有効に活用していただけるよう運営会議を行い、事業内容等について協議していただきました。

平成21年度 福井県海浜自然センター運営会議委員

関係分野	氏名	所属等
学術	富永修	県立大学生物資源学部教授
魚類一般	安田徹	水産学博士
学校教育	谷保裕子	若狭町立みそみ小学校教諭
学校教育	三宅愛	県立敦賀高等学校教諭
自然観察	多田喜代子	福井県自然観察指導員の会 副会長
自然観察	山口美智子	福井県ナチュラリストリーダー
エコツーリズム	田辺一彦	(有)湖上館パムコ 代表取締役
地域連携	森下幸一	若狭三方観光協会会長
	長谷正伸	鳥浜漁協同組合参事
行政	山形新治	若狭町商工観光課長

資 料

資料1 - 1 各種プログラム 参加団体一覧

月 日	団 体 名	内 容	参加数
5月10日	みらいつなくふくいプロジェクト	プランクトン観察	45
5月13日	岐阜・可児市立東可児中学校2年生	磯観察	93
5月14日	敦賀市立中郷小学校3年生	磯観察	77
5月19日	岐阜・郡上市立高鷲中学校2年生	磯観察	55
	敦賀市立粟野小学校4年生	ビーチコーミング	99
5月22日	岐阜・岐阜市立精華中学校2年生	磯観察	80
5月26日	岐阜・郡上市立西和良中学校2年生	磯観察	8
5月27日	岐阜・中津川市立蛭川中学校2年生	磯観察	48
5月30日	福井県立大学小浜キャンパス臨海学習	スノーケリング	52
6月3日	岐阜・揖斐川町立久世中学校1・2年生	磯観察	25
6月4日	岐阜・大垣市立興文中学校2年生	磯観察	122
6月11日	大野市立上庄小学校5年生	磯観察	37
6月12日	京都・京丹波町立桧山小学校5年生	プランクトン観察	26
6月21日	若狭町みそみ小学校4年生親子レクレーション	ビーチクラフト	45
6月24日	大野市老人クラブ(和泉会)	ビーチクラフト	43
7月1日	若狭町特別支援研究部会	海藻おしば	10
7月5日	若狭町スポーツ少年団野外活動クラブ	磯観察	18
7月8日	若狭町鳥羽小学校6年生	プランクトン観察	21
7月9日	福井県立嶺南西養護学校	ビーチクラフト	8
7月15日	光の子ども・インターナショナル・クリスチャンスクール	プランクトン観察	14
7月16日	大野市立乾川小学校	磯観察	38
7月19日	三方青年の家サマーチャレンジのボランティア講習	スノーケリング	9

7月22日	愛知県・椋山女学園大学付属小学校 6年生	磯観察	22
7月23日	小浜市宮川小学校5・6年生	海藻おしば	14
	若狭町教育研究会小6部会	スノーケリング プランクトン観察	8
7月27日	京都・同志社女子高等学校1・3年生	スノーケルを使った磯観察	23
7月28日	京都・同志社女子高等学校1・3年生	海藻おしば	20
7月29日	岐阜県立恵那高等学校1年生	スノーケルを使った磯観察	90
7月30日	京都府立南陽高等学校1年生	スノーケリング	42
7月31日	坂井市いきいき春江っ子自然隊	スノーケリング	20
8月4日	若狭町朝霧区子ども会	磯観察	24
8月6日	若狭町上中児童クラブ	海藻おしば	55
8月17日	京都・同志社女子高等学校3年生	スノーケルを使った磯観察	21
8月18日	京都・同志社女子高等学校3年生	プランクトン観察	21
8月24日	若狭町三方児童クラブ	海藻おしば	29
8月29日	福井県神社庁	海の生き物や環境の話	40
9月30日	若狭町三宅小学校4年生親子ふれあい行事	スノーケルを使った磯観察	40
	若狭町三宅小学校5年生	プランクトン観察	23
10月9日	小浜市雲浜小学校1・2年生	海藻おしば	69
10月23日	小浜市加斗小学校3・4年生	海藻おしば	28
11月11日	若狭町梅の里小学校1・2年生	海藻おしば	25
3月21日	東部地区ちびっ子交流会	ビーチクラフト	27

資料1-2 3Dシアターと館内見学 団体一覧

月 日	団 体 名	参加数	月 日	団 体 名	参加数
4月28日	鯖江市立待小学校6年生	95	7月1日	若狭町特別支援研究部会	21
5月10日	みらいつなぐふくいプロジェクト	45	7月2日	京都・柊野泉友会	48
5月13日	小浜市西津保育園	176	7月9日	福井県立嶺南西養護学校	9
5月14日	敦賀市立中郷小学校3年生	77	7月15日	奈良・智辨学園中学校3年生	143
5月14日	岐阜・多治見市立北陵中学校2年生	159	7月23日	小浜市宮川小学校5・6年生	14
5月15日	福井市清水北小学校4年生	29	7月25日	岐阜・プレスボクラブ	41
5月17日	美水道楽ツアー	19	7月27日	若狭町野木小学校5・6年生	25
5月19日	敦賀市立粟野南小学校4年生	99	7月27日	全日本実践空手道七州会	122
5月22日	岐阜・岐阜市立精華中学校2年生	59	7月29日	越前市大虫小学校5年生	68
5月22日	岐阜・岐阜市立精華中学校2年生	59	7月29日	岐阜県立恵那高等学校1年生	90
5月26日	岐阜・大野町立揖東中学校	78	7月30日	京都府立南陽高等学校1年生	42
5月26日	滋賀・高島市役所障害福祉課ひまわりクラブ	10	8月3日	金沢大学社会教育主事講習県別演習	11
5月27日	岐阜・岐阜市立三輪中学校	35	8月6日	福井県大野市教育委員会	32
5月27日	岐阜・岐阜市立三輪中学校	32	8月6日	若狭町上中児童クラブ	55
5月28日	若狭町十村中学校同級会	16	8月18日	クラブホワイトウイングス	45
5月28日	岐阜・垂井町立北中学校2年生	75	8月19日	敦賀市・粟野南児童クラブ	42
5月29日	若狭町・井崎ふれあいサロン	20	8月21日	探求ネットワーク 福井まちかど調査隊	33
6月4日	岐阜・大垣市立興文中学校2年生	122	8月22日	若狭町長江子ども会	18
6月5日	越前市立岡本小学校6年生	46	8月23日	美浜町大藪農村環境保全隊	17
6月10日	岐阜・安八町立東安中学校2年生	87	8月23日	岐阜・NPO法人キッズ	32
6月11日	大野市立上庄小学校5年生	37	8月24日	若狭町三方児童クラブ	29
6月12日	岐阜・瑞穂市立穂積中学校1年生	245	8月25日	二州青松の里 はあとぼ・とさくらヶ丘	12
6月12日	京都・京丹波町立松山小学校5年生	26	8月29日	福井県神社庁	40
6月14日	福井市眞木町自治会	27	9月6日	NPOシニア大学 講座部マイスター	26

6月16日	愛知・江南市立古知野中学校	300	9月9日	福井県立大学小浜キャンパス教育G P	15
6月18日	小浜市南川福祉学園	14	9月13日	教葉美寿々会	36
6月18日	京都・仁和婦人会	32	10月2日	モクセイ会	16
6月19日	若狭町鳥羽地区・S 2 2年卒(小)同級会	22	10月4日	下久田明友会	33
6月23日	若狭町藤井老人クラブ	41	10月9日	小浜市雲浜小学校1・2年生	69
6月23日	滋賀・高島市安曇川町シニアクラブ	27	10月9日	福井市上文殊公民館	30
6月24日	大野市老人クラブ(和泉会)	43	10月15日	若狭町梅の里保育園	37
6月25日	福井市漁協女性部連合協議会	11	10月16日	北区長寿クラブ連合会リーダー研修会	36
6月26日	いとこ会旅行	13	10月23日	小浜市加斗小学校3・4年生	28
7月1日	奥越特別支援学級(中学校)	36	10月25日	江村町1番組	28
10月30日	高浜町青郷小学校1・2年生	84	2月5日	柴山潟流域環境保全対策協議会	11
11月11日	おおい町名田庄小学校3・4年生	29	2月14日	東中川青少年指導員研修会	13
11月11日	若狭町梅の里小学校1・2年生	25	2月23日	あわら里山歩き同好会	56
11月13日	デイサービスセンター眞盛苑	23	3月5日	塩自主防災隊	15
11月14日	篠坂町研修会	18	3月21日	東部地区ちびっ子交流会	39
合 計					3,868

資料2 食見地区周辺海域調査

1 はじめに

福井県海浜自然センターが位置する食見海岸は、常神半島と黒崎半島に囲まれた世久見湾南部にある。湾内の4箇所30.2haの海域は、すぐれた海中景観を有することから、福井県では唯一の海域公園（三方海域公園）に指定されている。これらの海域において継続的な調査により藻場や生物相の現状把握に努めることは、当該海域の環境保全および普及啓発を推進する上で重要といえる。そこで、当センターでは平成11年度から当該海域において藻場や生物相の調査を継続的に実施している。

2 調査内容と結果

(1) 海水温測定

調査地点および方法

センター地先船着き場内において、可能な限り毎日午前9時に表層から1m以浅で水温の測定を行った。

結果

図1に平成20年度と平成21年度の測定値の各月の平均値を示した。4月13.2、5月17.0、6月20.0、7月22.8、8月25.5、9月23.8、10月20.9、11月17.6、12月14.9、1月11.6、2月10.0、3月10.1であった。

平成21年度の水温は平成20年度と比較して4月から5月にかけて0.8~1.2低め、6月にはほぼ同様の値、7月から11月にかけて0.9~2.1高め、12月から1月はほぼ同様の値、2月から3月は1高めで推移した。



(2) 生物相調査

調査地と方法

調査は、平成 21 年 10 月 16 日に世久見湾奥の海浜自然センター北側に隣接する遊歩道地先海域において実施した。

3m四方のコドラートを 3 箇所設置し(図 2) スノーケリングによる目視観察によって、コドラート内に出現した無脊椎動物(軟体動物、甲殻類、棘皮動物、環形動物、刺胞動物)、魚類について記録した。目視観察は、二人一組で 1 コドラートにつき 20 分間行い、表 1 の基準にしたがって記録した。いずれの分類群についても微小な個体や岩の下、割れ目の奥などに隠れているものは調査対象から除外した。



図 2 生物相調査地点

表 1 記録方法

分類群	記録方法	
無脊椎動物	軟体動物(貝類、イカ類、タコ類)、甲殻類(エビ類、カニ類)、棘皮動物(ヒトデ類・ウニ類・ナマコ類・ウミシダ類)、環形動物(ケヤリムシ類)	1~9個体: - 10~19個体: + 20個体以上: ++
	刺胞動物(イソギンチャク類・クラゲ類)	被度 1%未満: - 被度 1%以上: +
魚類	種類と個体数について記録する。 A: 1個体 B: 2~10個体 C: 11~50個体 D: 51個体以上	

結果

調査地の水深は、St.1 が 0.8~2m、St.2 が 1.2m、St.3 が 2~3.5mであった。底質は、St.1 では砂利の中に転石が点在していた。St.2 および St.3 では巨礫が主体であった。結果を表 2~3 に示した。無脊椎動物については、13 目 17 科 20 種、魚類については、2 目 5 科 7 種が確認された。

表 2 定点調査地点結果(無脊椎動物)

綱	目	科	種名	St.1	St.2	St.3
鉢虫	旗口クラゲ	ミズクラゲ	ミズクラゲ	-	-	
軟甲	十脚	ホンヤドカリ	ケアシホンヤドカリ		-	
多板	新ヒザラガイ	クサズリガイ	ヒザラガイ		-	
腹足	古腹足	ミミガイ	クロアワビ	-		
		ニシキウズ	オオコシダカガンガラ ヒメクボガイ	+	++	+
		サザエ	サザエ ウラウスガイ	-		- ++
	新腹足	アッキガイ	ヒメヨウラク レイシガイ		-	+
	アメフラシ	アメフラシ	アメフラシ		-	
裸鰓	イロウミウシ	アオウミウシ		-		
	クロシタナシウミウシ	ミヤコウミウシ		-		
二枚貝	ウグイスガイ	ウグイスガイ	アコヤガイ	-		
	カキ	イタボガキ	イワガキ			++
頭足	八腕形	マダコ	マダコ		-	
多毛	ケヤリムシ	ケヤリムシ	ケヤリムシ	-		-
ウニ	ホンウニ	オオバフンウニ	バフンウニ		-	
		ナガウニ	ムラサキウニ	-		+
ヒトデ	ヒメヒトデ	イトマキヒトデ	イトマキヒトデ	-	-	-
9綱	13目	17科	20種	11種	11種	8種

表3 定点調査地点結果（魚類）

目	科	種名	St.1	St.2	St.3
カサゴ	フサカサゴ	カサゴ		A	B
	アイナメ	クジメ	A		
スズキ	ベラ	オハグロベラ	A		
		キュウセン		A	A
	ホンベラ	B	A	A	
	ヘビギンポ	ヘビギンポ	B	A	
	イソギンポ	ニジギンポ			B
2目	5科	7種	4種	4種	4種

(3) ウミガメ調査

目的

定置網で混獲されたウミガメ類を調査することにより、日本海におけるウミガメ類の回遊状況解明の一助とする。

調査地と方法

沿海漁協へ調査表を配布し、ウミガメ類が混獲された場合に報告をうける体制を平成17年から整えている。混獲されたウミガメ類が、漁港まで運搬されている場合、現地に赴き、種名、大きさ（甲長、甲幅）などを記録した。

結果

平成21年度には、オサガメ4頭、タイマイ1頭、アカウミガメ5頭の情報があつた。

混獲、標識放流の記録は、標識放流調査の取りまとめ機関である日本ウミガメ協議会へ報告した。

表4 ウミガメ調査結果

発見日	種名	発見場所等	大きさ			処理	備考	
			甲長	甲幅	体重			
2009年6月18日	オサガメ	若狭三方町漁業協同組合(世久見)	定置網	110.6cm	64.5cm	153kg	解剖	ウミガメ協議会、ふくいウミガメサークルとともに解剖。 海浜自然センターで剥製に、性別：。
2009年10月15日	オサガメ	小浜市宇久(浦谷俊晴)	定置網	120cm (曲)	65.7cm	未測定	タグ装着後放流	右前肢: JPN57308、左前肢: JPN57307 右後肢: JPN57309、左後肢: JPN57310 翌日、近隣の定置にて混獲死亡の情報あり。
2009年10月22日	オサガメ	若狭町世久見と塩坂越の間	漂流	118.5cm (曲)	99cm (曲)	未測定	解剖	ウミガメ協議会、ふくいウミガメサークルとともに解剖。 腐敗進む。 両前肢にロープがかけられていた。上記の個体かは不明。
2009年11月22日	オサガメ	美浜町 松原海岸	漂着	114.0cm (曲)	98.0cm (曲)	未測定	解剖	ウミガメ協議会、ふくいウミガメサークルとともに解剖。 腐敗進む。 1週間前には漂着していた情報あり。
2009年12月21日	タイマイ	三里浜	漂着	8.61cm	7.6cm	未測定	解剖	福井市自然史博物館へ持ち込み。 ウミガメ協議会、ふくいウミガメサークル、福井市自然史博物館とともに解剖。
2010年1月2日	アカウミガメ	水晶浜	漂着	8.15cm	7.41cm	未測定	解剖	福井市自然史博物館へ持ち込み。 ウミガメ協議会、ふくいウミガメサークル、福井市自然史博物館とともに解剖。
2010年1月10日	アカウミガメ	三里浜	漂着	9.5cm	8.8cm	未測定	解剖	海浜自然センターへ持ち込み。 ウミガメ協議会、ふくいウミガメサークル、福井市自然史博物館とともに解剖。
2010年1月15日	アカウミガメ	三里浜	漂着	8.61cm	7.41cm	未測定	解剖	福井市自然史博物館へ持ち込み。 ウミガメ協議会、ふくいウミガメサークル、福井市自然史博物館とともに解剖。
2010年1月16日	アカウミガメ	三里浜	保護	9.79cm	9.55cm	178g	保護	越前松島水族館へ持ち込み、保護。 曲甲長10.05cm
2010年1月31日	アカウミガメ	高浜町小黒飯名島沖合	定置網	45cm			放流	若狭高浜漁業協同組合本所から海上保安庁へ連絡。 水温計測後(11)すぐに放流。

資料3 三方湖周辺のふゆみずたんぼに飛来するハクチョウ類

1 調査の目的

三方五湖周辺では、従来 11 月から 12 月にかけてコハクチョウの飛来が観察されていたが、越冬例は確認されていなかった。福井県海浜自然センターでは、平成 18 年度から三方湖に近接する地区の農家に呼びかけ、ふゆみずたんぼの面積拡大に協力していただいている。また、同年度から、ハクチョウ類、ガン類など大型水鳥類の越冬環境にふゆみずたんぼが寄与する効果を検証するため個体数調査を継続している。

2 調査地と方法

三方湖南部の若狭町鳥浜地区、向笠地区(図1)のふゆみずたんぼにおいて、平成 21 年 11 月 3 日から平成 22 年 2 月 24 日までの期間中、主に午前 8 時前後の時間帯に確認されたコハクチョウの個体数を 8~18 倍の双眼鏡を用いて計数した。



図1 調査地位置図(写真提供:若狭町)

3 結果と考察

三方湖周辺でふゆみずたんぼの面積が約 2ha に拡大した平成 18 年度から、越冬する個体群が確認されるようになった。21 年度は 11 月 3 日にコハクチョウ 2 羽が鳥浜地区で最初に確認され(図2)、その後は断続的に観察されて、最終確認日は 22 年 2 月 24 日であった。この間に観察されたコハクチョウは最大 6 羽(11 月 23 日)で、調査期間中、これらの個体は採餌、休息などの行動をともにしていた。

21 年度の飛来数が前年度に比較して減少した原因として、まず、19 年度から 20 年度の主要な餌場と休息地になっていた鳥浜地区のふゆみずたんぼが、麦への転作のため大幅に減少したことがあげられる。また、21 年度は三方湖周辺におけるハクチョウ類の主な餌資源となる稲の二番穂の実りが極端に悪かったことも大きな要因であったと考えられる。

なお、三方湖から南方に約 11km 離れた若狭町下吉田地区のふゆみずたんぼに 2010 年 1 月上旬から 2 月下旬にかけてツクシガモが飛来した(図3)。ツクシガモは環境省レッドデータブックでは絶滅危惧 B 類に評価され、福井県での確認例も極めて少ない鳥である。同地区には約 15ha のふゆみずたんぼがあり、ツクシガモは最大 11 羽が確認された(三原学氏 私信)。

これまでの調査から、三方五湖周辺がハクチョウ類など水鳥の良好な越冬環境になるには、ふゆみずたんぼの設置に加え、餌となる二番穂が実る水田が隣接すること、道路から十分に離れ安全に休息できる場所が当該水田中に確保できることなどが必要条件であることがわかった。嶺南地方でのハクチョウ類の越冬地は、現在のところ三方湖周辺のみであることから、今後もふゆみずたんぼが継続されることが期待される。



図2 若狭町鳥浜地区で21年度最初に確認されたコハクチョウ
(2009年11月3日 海浜自然センター撮影)



図3 若狭町下吉田地区に飛来したツクシガモ(2010年2月21日 高橋繁応氏撮影)

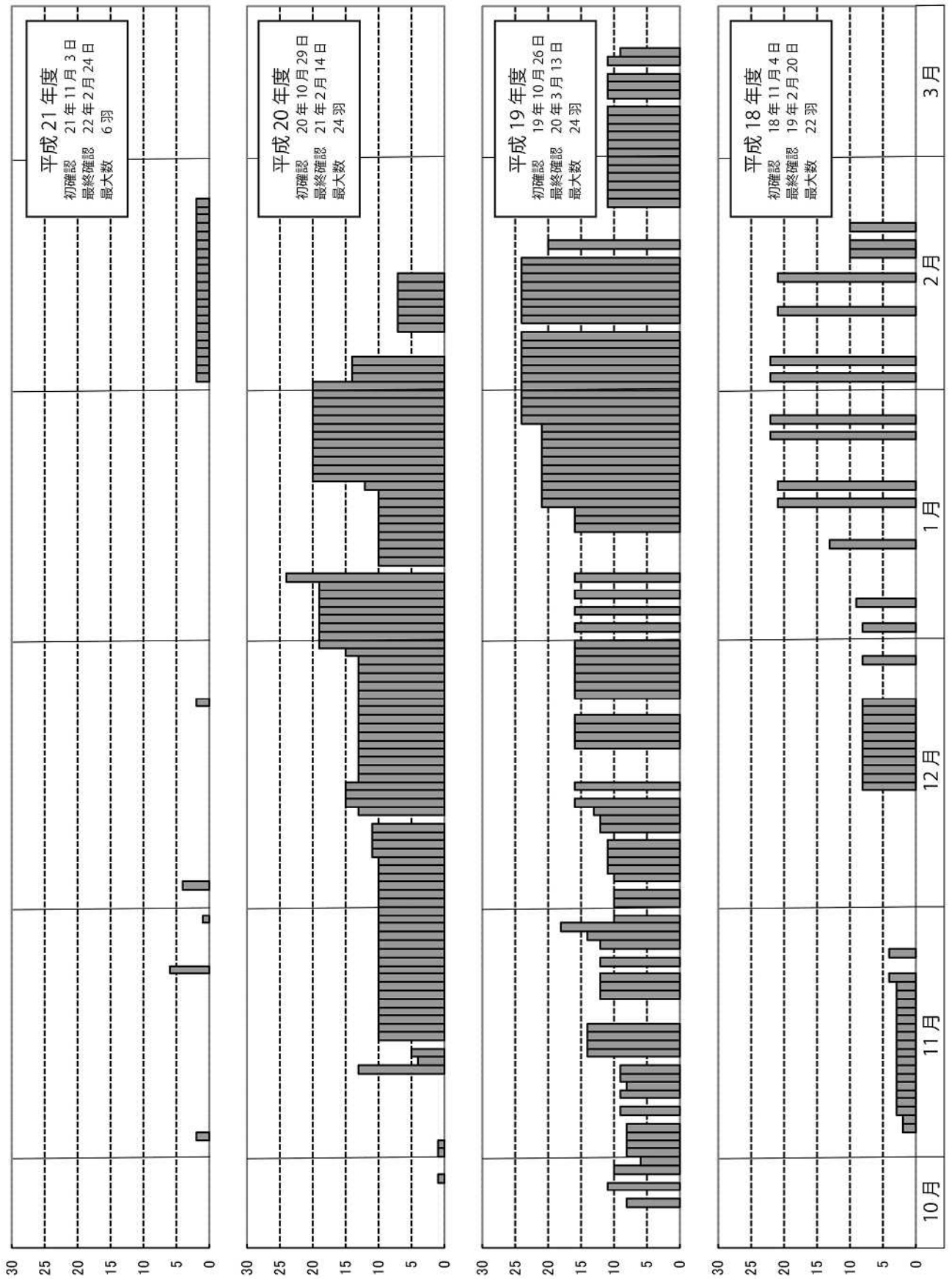


図4 確認されたハクチョウ類の個体数（18年度～21年度）

資料4 来館者アンケート結果（調査期間4月1日～3月31日）

回答数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
15	15	6	22	34	17	12	13	7	5	3	7	156件

以下は上位4～6位まで集計結果（複数回答あり）

Q1 海浜自然センターを何で知りましたか。

1位	2位	3位	4位	4位	その他
近くに観光に来て	人に聞いて	海水浴のついでに	インターネットで	民宿等の紹介で	
30.0%	27.9%	17.1%	3.6%	3.6%	17.8%

Q2 どのような目的で来館しましたか。

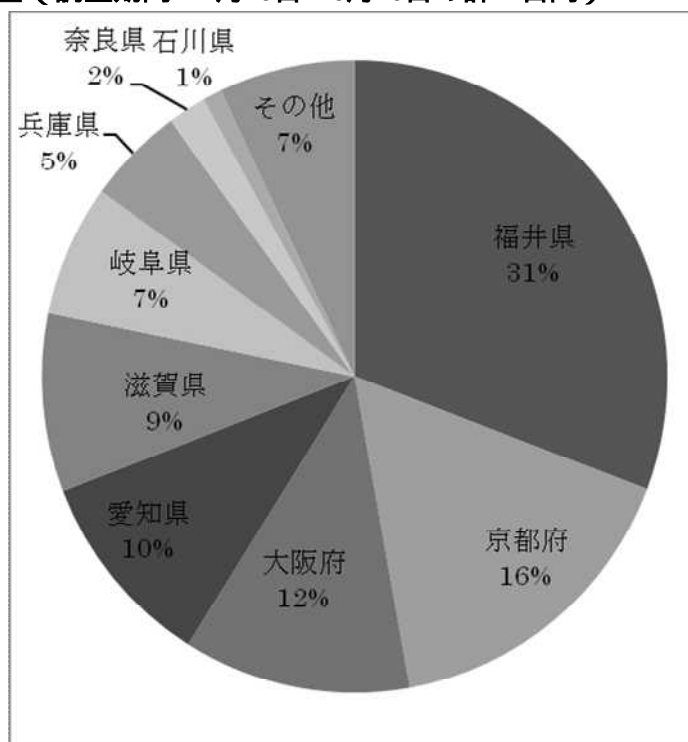
1位	2位	3位	その他
見学	観光	体験講座	
42.7%	38.4%	2.7%	16.2%

Q3 来館するのは何回目ですか。

1位	2位	3位
初めて	3回以上	2回目
49.0%	37.4%	13.6%

資料5 夏休み期間の車ナンバー調査（調査期間 7月18日～8月23日の計17日間）

順位	都道府県名	台数	割合(%)
1	福井県	624	30.8
2	京都府	333	16.4
3	大阪府	239	11.8
4	愛知県	207	10.2
5	滋賀県	184	9.1
6	岐阜県	137	6.8
7	兵庫県	102	5.0
8	奈良県	40	2.0
9	石川県	20	1.0
	その他	143	7.1
	合計	2,029	100.0



平成 2 1 年度
福井県海浜自然センター 海遊

発 行：福井県海浜自然センター
〒919-1464 福井県三方上中郡若狭町世久見 18-2
電話：0770-46-1101
FAX：0770-46-9000

発行日：2 0 1 0 年 1 1 月



健康長寿な福井です。